



### 実施要綱の内容

実施要綱に盛られた主な内容について  
簡単に紹介します。

おいて、統合移転の完了に伴い、平成七年十月に定められた広島大学の理念が紹介されています。ご存知でしょうか。

## 広島大学の理念と 底こしつつ、眞の

ここにあります。五原則とは、

- ①平和を希求する精神
- ②新たな知の創造
- ③豊かな人間性を培う教育
- ④地域社会・国際社会との共存
- ⑤絶えざる自己変革

です。

- これまでの改革の経緯、新しい改革の必要性、方向性が述べられています。学生の皆さんに直接かかわる点については、すでに解説しました。

### 『教養的教育の理念と目標』

本論では、まず「教養的教育の理念と目標」が明示されています。小手先の改革ではなく、長い将来を見越したもののにするために、確固とした教養的教育の理念と目標を定めておく必要があるとの認識に立つて決められたものです。

教育的教育の理念と目標

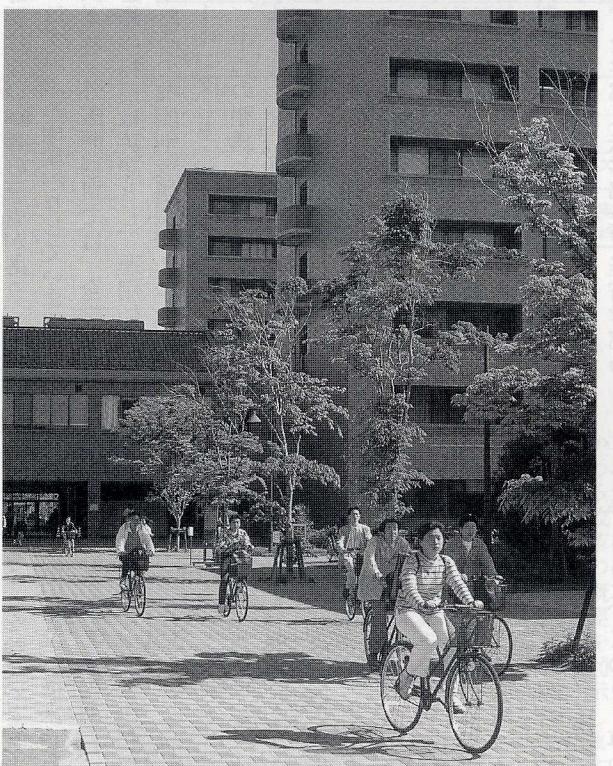
いうのが現状です。実施体制に関連し、興味ある話題として、今回の教養内教育改革の一環として

して、外国語教育と情報教育についての認識に立ち、外国語教育研究センターと情報教育研究センターの二つの教育研究センターが学内措置として設置されることです。外国语教育と情報教育については、平素の授業だけではどうしても不足がちでしたが、センターの指導の下に大幅に自学自習の道が開かれた見通しが立ちました。

広島大学の教養的教育の実施体制について説明した機会に、他大学と事情を異にした広島大学の教養的教育の大きな特徴として改めて触れておきたいのが、総合科学部の存在です。

いわゆる大綱化以降、教養的教育が学部一貫カリキュラムの一環としてとらえられ、全学実施体制で実施されているのは、むしろ他大学において盛んであります。皆さんのが帰郷されて同窓生等と大学生活について語られる場合、広島大学に他大学のような「教養部」が存在しないことに気付き、疑問を持たれた方が多いと思います。

大学に入学した直後から始まる一般教育（教養的教育）をもつばら担当したのが教養部です。この教養部は、極端な言い方をすれば、大綱化以降、各大学では「全学実施体制」の名目の下に各学部に吸収されています。そもそも全国の大学から「教養部」の存在・



名称が消えることになるでしょう。  
広島大学では、大綱化が実施される  
約二十年も前に全学的合意の下に教養  
部を改組し、総合科学部を創設したの

です。総合科学部創設の理念は、現代風に表現するのであれば「教養的教育と専門的教育の一体化した新しいリベラル・エデュケーションを目指す」というものでした。

施担当部局として総合科学部は位置付けられることになります。

類似の教養的教育を行う大学は、広島大学を除いては、東京大学と京都大学だけであり、広島大学の全学実施体制の動向が全国的に注目されているといつても過言ではありません。

施担当部局として総合科学部は位置付けられることになります。

分されました。一つは大学での学問研究や社会で活動していく上で基本となる能力の習得を目指す授業科目、一つはそれ以外のもの、すなわちその履修の選択が学生各自または各学部・学科等に委ねられる授業科目です。

前者は全学部生に履修が義務付けられるもので「共通科目」と命名、後者は「一般科目」と命名されました。それぞれは、さらに次のようないくつかの区分から構成されています。

共通科目——教養ゼミ

一般科目——総合科目

個別科目（パックージ別）

外国語科目

①専門に対する前専門の教育（前専門性）

②専門に対する非専門の教育（非専門性）

③学際的・総合的な教育（学際性・総合性）

を柱にすることとし、広島大学の教養的教育は、「各学部の専門的教育との一貫性・調和性に配慮し、専門に対してもの前専門性と非専門性、および学際性・総合性を柱として、

①普遍的・基礎的な学問的素養を培うとともに、真理を希求する精神をもつて自ら考え、判断し、表現する能力を養い、

②専門と異なる様々な学問に触れる

あるいは無意識のうちに実践していく理念と目標ではありますか。それがどのように整理され、明示されたということに意義があります。

皆さんの一生涯の価値観や生き方にかかわるだけに、真剣に取り組まねばならない必要性は自覚しながら、だからといって受講しただけですぐに問題解決して安心が得られるものでなく、結局のところは安易に取り組まれ、惰性に流れがちなのが教養的教育だったという人もいるのではないか。どうか。どの授業科目を選択し、履修すればよいかわからなかつたという人もあるたのです。

たしかに、このように理念や目標が提示されますと、目新しく重々しくも

今後も教養的教育は、主として総合科学部の教官が担当し、現総合科学部の教室で開講されますが、皆さん所屬する学部での開講、あるいは総合科学部以外の教官の授業も増加することになります。従来のように総合科学部に教養的教育を全部任せるのではなく、全学的な管理運営体制の下に教養的教育が実施されなくては意味がありません。かくして教養的教育について、その理念に照らして、基本的方向の策定、企画・立案、さらには自己点検・評価等のためにもつともふさわしい委員会が設けられることになります。これらの委員会は、正式には平成九年度に発足しますが、発足と同時に具体的な活

③学際的・総合的な学問分野について学ぶことにより、多面的・全体的に事象を把握する幅広いものの見方を身につけ、

### 『教養的教育の実施体制』

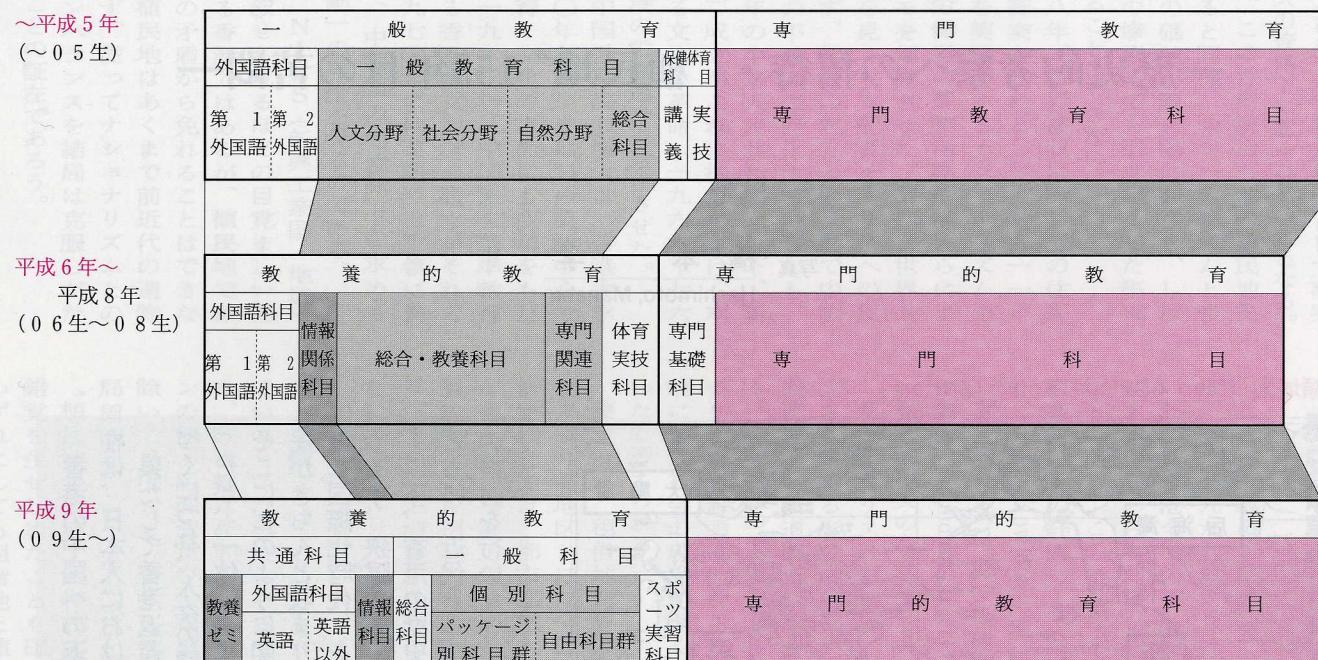
教育の理念と目標を実現することができる体制をいかに確立するか、この点に知恵が絞られています。

広島大学は、教養的教育のガイドラインを五十単位程度に設定し、この中の四十単位程度を総合科学部が今後も責任をもって開講し、他の学部も前述の全学的担当の精神に沿い、約十単位程度を開講することが将来的に妥当であると考えました。

今後も教養的教育は、主として総合科学部の教官が担当し、現総合科学部の教室で開講されますが、皆さん所所属する学部での開講、あるいは総合科学部以外の教官の授業も増加することになります。従来のように総合科学部に教養的教育を全部任せることではなく、全学的な管理運営体制の下に教養的教育が実施されなくては意味がありません。

かくして教養的教育について、その理念に照らして、基本的方向の策定、企画・立案、さらには自己点検・評価等のためにもつともふさわしい委員会が設けられることになります。これらの委員会は、正式には平成九年度に発足しますが、発足と同時に具体的な活動ができるよう、「現在試運転中」と区分から構成されています。

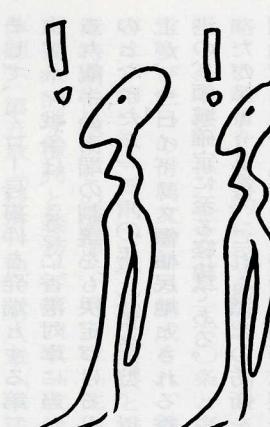
## 学部教育の変遷



実施要綱の内容について概略を紹介し  
あわせて平成九年四月実施に向けての  
現状について説明しました。要は、平  
成九年度からの教養的教育の改革の成  
否の鍵は、広島大学の構成員一人一人  
が握っているのです。全学実施体制、  
全学的担当と言葉で言い表すのはいか  
にも簡単ですが、そのためには、教職  
員の意識の変革と共通認識の形成が不  
可欠です。在学生の皆さんにも、自分  
たちに連動した改革であり、このこと  
は学年暦一つを取つても理解していた  
だけたと思います。どうか応分の協力  
をお願いします。

最後に、広島大学の教養的教育にか  
かわる改革の概要を図示します。学部  
によってかなり異なりますが、ぜひ確  
認してみてください。

について  
六月三十日が  
二十日に  
変更になります



的にはずいぶん様変わりしています。例えば、外国语科目では、全学部生に必修の科目は英語とし、運用能力を養うための技能別英語（リスニング、スピーチング、リーディング、ライティング）を中心の開講となります。英語以外の外国语でも「朝鮮語」が新たに加わるとともに、「初修外国语の世界」という一期二単位の授業科目を開設し、新しい授業分野を開拓しようとしています。

一般科目の中でも、個別科目については、新しい知的枠組みを基礎にして授業科目を五つの群にグループ化し、「パッケージ別科目群」が設定されました。全学部（法学部及び経済学部の夜間主コースは除く）を対象にしますが、各学部生は、

知の根源  
人間の自画像  
制度と生活世界  
国際化と異文化交流  
科学技術と環境  
と名付けられた五つのパッケージの中から一つのパッケージを選択し、それぞれのパッケージに設けられた人間・価値の視角  
社会・世界の視角  
自然の視角

という三つの視角から各二授業科目（四単位）ずつ、合計六授業科目（十二単位）を選択して履修します。各自の専門以外の分野に接し、幅広い視野

を身につけることをねらいとしています。個別科目の中には、従来から開講されていた、いわゆる基礎科目、さらにG・S区分科目も「自由科目群」として含まれています。

現在、苦労しているのは、この「教育的教育の内容と方法」が平成九年四月から実施できるかというところにあります。平成九年度以降の実施体制については、「現在試運転中」と述べました。

平成八年度の特別委員会が実施要綱の実現・実施に責任を負う委員会として継続され、特別委員会に試運転の委員会の一つとして、カリキュラム編成専門委員会（略称「カリ専」）を置きました。さらに、このカリ専の下に教育的教育の企画・実施について具体的に検討するため、十一のワーキング・グループ（略称「W・G」）を設け、慎重に作業を進めていました。

これら教養的教育改革に携わっている委員等は、広島大学全体で百数十名にのぼり、広島大学がその総力をあげて成し遂げようとしている改革であることが理解していただけるものと思います。前述の十一のW・Gには先輩とともに履修等の手引きとシラバスを作成するW・Gが設けられることになっています。この新設のW・Gには先輩としての立場から、ぜひ皆さんの知恵・アイデアを借りたいと考えています。

『学期区分および授業時間帯等』

本論では、最後に「学期区分および

- 前期(四月一日から九月三十日まで)
  - ・夏季休業(六月一日から九月三十日まで)
- 後期(十月一日から翌年三月三十一日まで)
  - 夏季休業終了後の九月に前期試験を行ふ従来の形と変わり、七月三十一口までに前期試験を終了させて夏季休業に入ることになります。サークル活動等に関しても影響が及ぶのは必須でしょうが、どうか早めに対応いただけ協力くださるようお願いします。
  - なお、学期区分や授業時間帯については現行のままです。

広大フォーラム28期4号 (No. 331) 1996.10.25 12 (152)